

## 第3回 日本の工業(1) 基本問題

- 1 金属工業・機械工業・化学工業をまとめて( 重化学 )工業といい、工業生産額の( 4分の3 )をしめて日本の工業の中心です。
- 2 1の工業以外をまとめて( 軽 )工業といい、1955年頃までは日本の工業の中心でした。
- 3 鉄鋼業は、金属工業の中心で生産量は中国について第( 2 )位です
- 4 鉄鋼の原料は、( 鉄鉱石 )・石炭(コークス)・( 石灰石 )の三つで、これらを高炉にいれて銑鉄を作り、さらに鋼へと加工します。
- 5 アルミニウムの原料は( ボーキサイト )で、精錬に大量の( 電気 )を使用するので、電気料金の高い日本では生産されていません。アルミニウムは電気のカンヅメとされています。
- 6 機械工業は日本の工業の中心で、なかでも( 自動車 )工業の生産額が最も大きくなっています。
- 7 自動車は2～3万個の部品からなり、部品の多くは専門の( 関連 )工場で作られます。
- 8 7の工場は、( 組立 )工場へ必要とするときに必要な数だけ運びます。これを( ジャストインタイム )方式といいます。
- 9 自動車の組立では作業をいくつにも分ける( 分業 )と、ベルコンベアーが車体を運んでいく間に次々と部品を取り付けていく( 流れ )作業の仕組みが取り入れられています。
- 10 1970年代、アメリカとの間で貿易摩擦がおこったため輸出量を制限する( 自主 )規制と、海外に工場を移転する( 現地 )生産を進めました。
- 11 船をつくる工業を( 造船業 )といい、その量は長く世界一でしたが、( 中国 )や( 韓国 )にぬかれています。
- 12 ( 電子 )工業に分類されるパソコンは、現在ほとんど( 中国 )で組み立てられています。
- 13 ( 半導体 )をもちいてつくられる( 集積回路 )は、複雑な電気回路を小さくまとめた製品です。
- 14 ( 精密 )機械工業の製品は、顕微鏡や望遠鏡、医療用機器などですが、もとは時計・カメラなどです。
- 15 石油に関係するさまざまな工場がパイプで結ばれているしくみを、石油化学( コンビナート )といいます。
- 16 軽工業のなかで、生産額が一番大きいのは( 食料品 )工業です。
- 17 米・大豆・麦などを発酵させ、酒・しょうゆなどを生産する工業を( 醸造 )業といいます。
- 18 ( よう )業は、土や石を焼いたりとかしたりして、陶磁器・( セメント )・ガラスなどをつくります。
- 19 18の( セメント )工業は、原料となる( 石灰石 )がとれる地域で発達しています。
- 20 木材を細かくくだいた( チップ )を薬品でとかし、せんいを取りだした物を( パルプ )といいます。
- 21 20や( 古紙 )を原料として紙をつくっています。ごみの減量につながります。
- 22 ( 綿花 )から綿糸をつくることを( 紡績 )といいます。綿製品はTシャツや肌着に使われます。
- 23 ( まゆ )から( 生糸 )(絹糸)を作ることを製糸といいます。
- 24 セーターなどの毛織物は、羊の毛からつくられる( 羊毛 )が原材料です。
- 25 蓄電池にたくわえた電気で走る( 電気自動車 )は、排気ガスを出さないが充電する電気が火力発電所でつくられていれば、間接的に二酸化炭素などを排出していることになります。